

## 第76回国民体育大会ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて

No.	対象競技・種目名		ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて		照会先団体名
			有無	措置の内容	
1	水泳競技	水球・AS	2	水泳連盟で各競技あわせて5月下旬までに作成予定。基本的に昨年度と同様の方針で対応する。 別紙：昨年度の特別措置について	公益財団法人 日本水泳連盟
2	サッカー競技		1	添付ファイル参照	公益財団法人 日本サッカー協会
3	テニス競技		1	添付ファイル参照	公益財団法人 日本テニス協会
4	ボート競技		2	今後、感染状況の悪化で大会が実施できなくなった場合は添付書面の考え方に準じて選考することを求める。	公益社団法人 日本ボート協会
5	ホッケー競技		2	①過去10年間のブロック大会の決勝戦進出府県を点数化する。 1位に2点、2位に1点とし合計点数の高いチームに出場権を与える。 ②同点の場合。本大会での競技別点数の高いチームに出場権を与える。 ③同点の場合。抽選をして出場権を与える。 ※ 整備完了期日は、本年6月5日実施予定の日本ホッケー協会通常総会	公益社団法人 日本ホッケー協会
6	ボクシング競技		2	現在、本連盟ではルール未整備であります。今後、ブロック委員会及び理事会にて、ルールを整備して参ります。期日につきましては、未定ではありますが、各予選に支障が出ないように、期日も併せて調整して参ります。	一般社団法人 日本ボクシング連盟
7	バレーボール競技 6人制		2	中央競技団体としてブロック代表選考方法のルールは定めておりません。 その理由は各ブロックの出場チームの特徴、Vリーグに所属しているチームがブロックにより異なるためです。ブロック代表チーム選出については、ブロック大会開催の幹事県（都道府県ス協・都道府県バレーボール協会）が中心となって協議（整備完了予定：7月上旬）し、各ブロックでの選考基準を定めていただきます。 ブロック大会開催は①実施する②代替大会を行う③ブロック大会が実施できない場合がありますが、ブロック大会が実施できない場合、ブロック大会幹事県バレーボール協会は、事前に「（本会で準備した）連絡項目」により本会に報告し確認を行います。 ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて、現在都道府県バレーボール協会及びブロック長と検討を進めているため、今後さらにブロック長と協議の上、（各ブロックでの）ルールを整備いたしてまいります。	公益財団法人 日本バレーボール協会

第76回国民体育大会ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて

No.	対象競技・種目名	ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて		照会先団体名
		有無	措置の内容	
8	体操競技 体操競技・新体操	3	各ブロックには出場枠が与えられており、開催できなかつた場合にはあくまでブロック主体で、ブロック関係者総意の下、事前にその選考方法等を取り決め、それに従って枠数に応じたチーム及び選手を決定する。 なお、選考方法や出場を決定したチーム等については、ブロック大会の幹事体操協会より日本体操協会へ報告する。	公益財団法人 日本体操協会
9	バスケットボール競技	2	基本は都道府県やブロックの意向を尊重するよういたします。理由は、都道府県やブロックによって事情も違い、NFとしてルールを固めると、それにより縛られてしまうためです。一方で、「丸投げだ」という批判の声もありそうですが、バスケットボール競技の場合、NFがルールを定める方がリスクが高いと判断いたしました。	公益財団法人 日本バスケットボール協会
10	ウエイトリフティング競技	2	令和3年3月末までに整備予定 協会事務局にお問い合わせ	公益社団法人 日本ウエイトリフティング協会
11	ハンドボール競技	3	貴協会から提示された具体的な方法を参考に各ブロック協会にて代表を選出していただくこととさせていただきます。 団体競技にて、ブロック大会の結果（勝敗）のみで、代表選考をしていること。ブロックによって、代表数、予選実施方法などに違いがあることから、日本協会から一定の選出方法を示すことなく、各ブロックにて協議の上、選考をお願いすることとします。	公益財団法人 日本ハンドボール協会
12	ソフトテニス競技	3	1. 代替大会の同一日、同一会場開催 2. 代替大会の種別単位かつ別会場での開催 3. 少年はブロックの2021年度大会実績を適用 4. 全種別2019年度成績を適用 5. 全種別抽選も視野に入れる	公益財団法人 日本ソフトテニス連盟
13	卓球競技	3	ブロック大会については特にありません。 都道府県予選会につきましては別添のように案内しております。	公益財団法人 日本卓球協会

## 第76回国民体育大会ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて

No.	対象競技・種目名	ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて		照会先団体名
		有無	措置の内容	
14	軟式野球競技	2	5月中に整備完了予定である。 未整備時に発生した場合の対応については、予定しているブロック大会の全てが7月末から8月に開催予定であるため、整備完了期日において問題がないと考える。 また、整備完了予定が5月中である理由は、各ブロック会議での決定を要する事案であり、コロナ禍において会議の開催が困難であり、ほとんどのブロックが3月末～4月中旬に実施予定であるため。 本連盟としては、各ブロックによって出場枠数や参加チーム数、ブロック内の事情も異なるため、一律に定めることが困難と判断し、各ブロックから提案のあった代替措置に対して承認する形をとる。	公益財団法人 全日本軟式野球連盟
15	馬術競技	3	ブロック大会幹事県が中心となり、ブロックを構成する都道府県体育・スポーツ協会および都道府県競技団体との協議によりブロック代表枠の選考方法を決定するものとする。	公益社団法人 日本馬術連盟
16	フェンシング協会	3	・ブロック大会の実施の可否については、ブロック大会開催県を中心に各県代表者により決定する（他県での開催可能かも検討） ・大会が開催されず代表枠を決める場合 1)各代表者による話し合い 2)昨年度の成績を参考にする 3)過去5年間の成績を参考にする 4)リポートによる抽選会等を実施する ・実施方法については、ブロック大会開催県が中心となり決定する	公益社団法人 日本フェンシング協会
17	柔道競技	3	1月25日付けで貴協会から通達があり、2月8日に開催した本連盟大会事業委員会で下記のとおり対応を決定いたしました。 ブロック大会幹事県が中心となり、ブロックを構成する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体との協議により、ブロック代表枠の選考方法を決定する。	公益財団法人 全日本柔道連盟
18	ソフトボール競技	3	現時点で具体的な対応策はありません。 現在のコロナウイルス感染症の状況を3月末時点で一度判断し、ブロック代表枠選出方法の代替措置について、ブロックと協議する。	公益財団法人 日本ソフトボール協会

第76回国民体育大会ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて

No.	対象競技・種目名	ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて		照会先団体名
		有無	措置の内容	
19	バドミントン競技	3	今後の状況にもよりますが、開催のブロックレベルでガイドラインが異なることから、各ブロックでガイドラインを決め、不公平が生じないようにしてもらうように調整していく。	公益財団法人 日本バドミントン協会
20	弓道競技	3	令和3年1月25日付第2回JSPQ 国体発第188号のとおり	公益財団法人 全日本弓道連盟
21	ライフル射撃競技	3	各ブロックの話し合いによる。 今後ルール化について、検討してまいります。	公益社団法人 日本ライフル射撃協会
22	剣道競技	3	発生したブロックで対応を検討する。	公益財団法人 全日本剣道連盟
23	ラグビーフットボール競技	1	別添ファイル参照	公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会
24	スポーツクイズライミング競技	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本協会における国体競技種目（リード、ボルダリング競技）においては、国内ランキング制度はない。</li> <li>・そのため、第65回国体（鹿児島県）予選会、ブロック大会代表選考と同様の対応を求めている。</li> <li>・JSPQ国体課からの、ブロック幹事県への要望をお願いしたい。               <ul style="list-style-type: none"> <li>①予選会においては、ブロック大会参加申込み締切り日の順延などの対応を図り、予選会開催を追究する。</li> <li>②本国体参加申込み締切り日までに、ブロック幹事県の理解を得ながら、ブロック大会の開催を行う。</li> <li>③本大会同様の2種目競技ではなく、ブロック連盟/協会の合意のもとでの、単種目選考による代表選出も認める。</li> </ul> </li> <li>・以上の努力をした結果、開催が困難な場合は、選手/競技関係者に選考方法の広報の周知/徹底を図ったのち、抽選等において選考を行う。</li> </ul>	公益社団法人 日本山岳・スポーツクイズライミング協会

第76回国民体育大会ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて

No.	対象競技・種目名	ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて		照会先団体名
		有無	措置の内容	
25	カヌー競技	3	<p>予選会中止の判断は、あくまでも各都道府県協会及び各都道府県体協、ブロック大会幹事都道府県協会及び都道府県体協の判断に委ねられると考えます。</p> <p>そのうえで、中止と判断した場合、どのように都道府県代表を決定するかになりますが、これも各都道府県協会の判断に委ねられると考えます。</p> <p>「各都道府県協会の理事会等で過去の実績や選手のコンディション等を慎重に検討し、選考方法を明確にしたうえで、あくまでも公平に選考していく」というのが基本だと思います。正式に中止が確定し、選考方法が確定しましたらお知らせ下さい。確認致します。との回答をしている。</p>	公益社団法人 日本カヌー連盟
26	アーチェリー競技	3	<p>緊急事態宣言の発令下にあるかどうかなど、各ブロック・各都道府県で状況が異なるので、統一した選考方法を策定するのは困難であると考えます。各ブロックにおいて状況に応じた選考方法を検討し、参加都道府県の了解が得られた選考方法であればよいと考えます。</p> <p>また、基本的に、統一した選考方法のブロック大会が開催出来ないような状況下での本団体は、公平性の観点から開催するべきでないと考えます。</p>	公益社団法人 全日本アーチェリー連盟
27	空手道競技	2	過去の実績を基に地区協議会からの推薦で決める	公益財団法人 全日本空手道連盟
28	アイスホッケー競技	3	各ブロックの状況を鑑み、各ブロックでの対応意向に沿う。	公益財団法人 日本アイスホッケー連盟
30	なぎなた競技	3	ブロックとの話し合いを早急に行うことと今年度限り少年の試合、全県参加を希望いたします。	公益財団法人 全日本なぎなた連盟
31	ボウリング競技	3	ブロックごとに実情・状況が異なるため、ブロックを構成する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体との協議により選考方法を決定し、中央競技団体へ報告・確認を行う。	公益財団法人 全日本ボウリング協会

## 第76回国民体育大会ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて

No.	対象競技・種目名	ブロック大会中止に伴う代替措置に関するルールについて		照会先団体名
		有無	措置の内容	
32	ゴルフ競技	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 万が一ブロック大会が開催できなかった場合、代替措置は困難と考える。</li> <li>・ ゴルフは選手3人の編成となるため、過去の成績比較は、共通の基準が無く、不可能である。</li> <li>・ ゴルフ場での一般営業については、屋外でもあり、営業停止となることなく比較的安全なスポーツとして認知されているため、現状では感染症対策を徹底すればブロック大会は実施できると考える。</li> </ul>	公益財団法人 日本ゴルフ協会

**【質問内容】**

貴団体の状況について、以下の項目に関し当てはまる番号に○を付けてください。

**【回答項目】**

1. ルールが整備されている ⇒ 整備されている内容（規程等）
2. ルールを整備中である ⇒ 整備完了予定期日と未整備時に発生した場合の対応
3. 未整備（整備予定なし） ⇒ 今大会に発生した場合の対応

別紙

2020 年度大会 水球、A S の特別措置計画（参考）

【水球】

少年男子

◆直近の「全日本ジュニア」（2020 年 3 月）の予選会結果を優先し決定する。

原則として全日本ジュニア出場都府県を国体出場都府県とする。

ただし、全日本ジュニアと国体の参加枠が異なるブロックについては、予選会順位、対戦成績等を参考に、各ブロックで適切な方法により決定する。（適切な方法とは客観的事実に基づき、公平性・納得性を考慮し、抽選もあり得る）

女子

◆昨年度の国体出場を優先し決定する。

昨年度の出場チームを最も優先すべき事実として、代表都府県を決定する。

ただし、昨年度と出場枠が異なるブロックについては、昨年の国体成績、同国体予選等の成績を参考に、各ブロックで適切な方法により決定する。

【A S】

◆昨年度の主要競技会の結果を優先し決定する。

2019 年度に実施された大会の中で、国体参加資格年齢基準の選手が出場した下記の対象大会から、「1」を最優先とする。

「2」については、ブロックごとにブロック大会エントリー選手の成績を対等に比較できるように、複数の大会および種目を選択した上で、ブロック内にて客観的事実に基づき公平性・納得性を考慮し、協議の上決定する。

1. 第 17 回 FINA 世界ジュニア選手権大会 A S 女子日本代表派遣選手選考会（2020 年 2 月）の選考結果

2. 全国大会および各予選会の結果

① A S ナショナルトライアル 2020（2020 年 1 月）

ア. デュエット規定要素 イ. チーム規定要素

② 日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ 2019（2019 年 8 月）

③ 第 42 回 全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会（2019 年 8 月）

※その他の大会結果は参考としない。



2020年4月1日

地域・都道府県サッカー協会 御中  
各種連盟 御中

公益財団法人日本サッカー協会  
専務理事 須原 清貴

**新型コロナウイルス感染拡大の影響による  
全国大会の地域・都道府県大会開催可否及び全国大会出場チーム選出について**

拝啓 時下益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。平素より本協会の事業に格別のご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、皆さまご存知の通り、当協会は主催するすべての会議・イベント等の延期・中止を4月30日(木)まで延長することを決定致しました。

現在も全国各地で新型コロナウイルスの感染拡大が認められ、集団感染(オーバーシュート)が発生する恐れのある状況にあります。各地域・都道府県サッカー協会及び各種連盟におかれましては、選手・スタッフ、関係者、そして観戦者にとって安全で安心できる環境を最優先とし、各エリアにおける感染拡大状況を考慮の上、政府及び自治体の通達に従って競技会の中止・延期または無観客試合についてご検討頂きますよう、宜しくお願い致します。

5月以降のJFA主催の競技会の開催を目指しておりますが、状況によって修正する可能性があること、ご承知おきください。

各地域、都道府県での競技会において、競技方式や日程の変更、また試合が消化できない場合の全国大会出場チームの決定方法に関しては、各地域・都道府県協会、各種連盟に委ねさせていただきます。各組織として機関決定し、定められた期限までに代表チーム名をご連絡頂ければ幸いに存じます。

日本を含め世界的に新型コロナウイルス感染が拡大し、いつサッカーがスタートできるか分からない中、皆さまにとってもストレスを抱える日々が続いております。

しかしながら、健康であってこそサッカーが楽しめるということを念頭に、ご理解・ご協力いただきますよう、宜しくお願い致します。

敬具

<本件に関する問い合わせ先>

公益財団法人日本サッカー協会 競技運営部

Email <jfa\_natl\_competition@jfa.or.jp>



# 第76回国民体育大会テニス競技・『ブロック大会(ミニ国体)』を コロナウイルス感染拡大防止対応でやむを得なく中止する場合の指針

JTA国体委員会

## <基本方針>

ブロック大会実施の可否については、社会情勢を十分考慮し、主催母体である地域テニス協会・幹事都道府県テニス協会の判断により決定する。

## <留意事項>

### 1. 実施する場合

- ① 感染予防対策を徹底し、開催地行政の示す基準とJTAテニス再開ガイドラインを遵守すること。
- ② 体調不良の参加者等が発生した場合の対応を、関係機関とも相談の上、ブロック大会実施前に確認すること。

### 2. 実施しない(中止する)場合

- ① ブロック大会を実施しない場合の対応について、地域体育協会・スポーツ協会及び日本テニス協会にも事前の確認を行うこと。
- ② 選考方法の公平性、公正性、透明性を確保すること。
- ③ 選考前までに、ブロック大会幹事県は、ブロックを構成する都道府県テニス協会ならびに都道府県体育・スポーツ協会と協議し、ブロック代表枠の選考方法を決定する。
- ④ ブロック大会幹事県は、選考前までに、選考方法(選考基準、時期)を都道府県体育・スポーツ協会ならびに日本テニス協会と書面にて確認する。
- ⑤ ブロック大会幹事県ならびに該当都道府県テニス協会は、決定した選考方法を都道府県テニス協会等の関係者(選手、監督等)に対し周知する。
- ⑥ 選考対象となる各都道府県テニス協会の登録選手について、選考の前に必ず選手本人の国民体育大会テニス競技参加の意思を確認すること。
- ⑦ ブロック大会を実施しない場合も、参加都道府県体育・スポーツ協会は、国体参加申込システムにおいて、各ブロックの大会実施要項で定めた参加申込締切日までに参加申込手続を行い、ブロック大会幹事県は申込内容の受理作業を行う。

## <実施しない場合>

●原則ブロック大会を実施することが望ましいが、予選会が開催できない場合の都道府県選考の取り扱いとして下記の指針を参考とする。

- ① 選考方法の公平性、公正性、透明性を確保し、選考前までに選考方法(選考基準、時期等)を対象となり得る、選手・協会内関係者に周知のうえ、ホームページ等に掲出し、地域テニス愛好者が閲覧可能とすること。
- ② 選考方法案は下記に別途提示するが、その地域の実情に応じて、地域内で十分に協議し、禍根を残すことがないように決定すること。
- ③ 選考方法の決定から選考終了までの会議の議事録を用意すること。
- ④ 選考対象となる都道府県の選手については、選考前に参加資格、(ブロック大会参加意志)、本国体参加の意思確認を済ませておくことが望ましい。

### 選考方法案(順不同)

- イ) 国体参加選手2名のJTAランキングによる選考(令和3年〇×月〇×日付ランキングを採用するか事前に周知の必要あり。また、出場の意思確認ができないにも関わらず登録した場合は翌年からのブロック大会でのペナルティ等考慮すること)
- ロ) 過去4年間の国民体育大会テニス競技の戦績(戦績を順位点に換算)にて選考する。
- ハ) 過去4年間のブロック大会の戦績(戦績を順位点に換算)にて選考する。
- ニ) 本国体の戦績 40%、ブロック大会の戦績 30%、JTA ランキング 30%にて選考する。
- ホ) 地域内の男女参加枠を協議により割り振り、その残りは抽選とする。
- ヘ) 全てをブロック内の都道府県テニス協会代表者の協議とする。
- ト) 全てを抽選にて決定する。

国体参加資格等は公益財団法人日本スポーツ協会 WEB 参照  
<https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid191.html>

## <連絡先>

公益財団法人日本テニス協会(JTA)国体委員会事務局 鈴木宏(常勤ではありません)  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2 Japan Sport Olympic Square 7 階  
TEL.03-6812-9271 FAX.03-6812-9275 PH. 090-6477-3302  
Mail:japangames@jta-tennis.or.jp

2020年4月14日

ブロック長各位

公益社団法人日本ボート協会  
競技委員長 山本伊知郎

新型コロナウイルスに係る  
第75回国民体育大会（鹿児島県）都道府県予選会及びブロック大会の対応について

首題につきましては、日本スポーツ協会から指示書面が発信され、都道府県体育・スポーツ協会の指示のもとご対応されていることと存じます。

日本スポーツ協会発信書面には

（留意事項）

2. 実施しない（中止する）場合

対応方について中央競技団体にも確認を行う。

とありますが、日本ボート協会としての指針は以下のとおりとなりますのでご連絡いたします。

「昨年の実績及び選手個人の力量（エルゴタイム）などに基づき公平公正な選考を行う。  
また、同等レベルの選手・クルーが複数いる場合には公平な抽選で選考を行う。」

ブロック内で対応方の意見を求められた場合には上記の内容でご対応いただければと思います。このことを実行することの難しさは十分理解できますが、大会が実施できない場合、これ以上の対応はできないのではないかと思料いたします。

以上

## 第 76 回国民体育大会（卓球競技） 実施要項

(注) 本要項はあくまでも参考としてください。実際の手続き等は正式な大会要項にてご確認ください。

(1) 期 日 2021年10月1日(金)～4日(月)まで(4日間)

種 別	10月1日(金)	10月2日(土)	10月3日(日)	10月4日(日)
成年男子	1次リーグ	1次リーグ	1次リーグ	準決勝・決勝
成年女子	1次リーグ	1次リーグ	1次リーグ・準々決勝	準決勝・決勝
少年男子	1回戦	2回戦	3回戦・準々決勝	準決勝・決勝
少年女子	1次リーグ	1次リーグ	1次リーグ	準々決勝・決勝

(2) 会 場 「三重県営サンアリーナ」 〒516-0021 三重県伊勢市朝隈町字鴨谷 4383-4 TEL : 0596-22-7700

(3) 種別及び参加人員

種 別	監督	選手	参加都道府県	小計	合計
成年男子	1	3	16	64	460
成年女子	1	3	32	128	
少年男子	1	3	47	188	
少年女子	1	3	20	80	

※成年男子および成年女子の監督は選手を兼ねることができる。

(4) 競技上の規定及び方法

① 競技規則は、現行の日本卓球ルールによる。

② 試合方法

(ア) 少年男子はトーナメント方式によって勝敗を決め、成年男子、成年女子及び少年女子は、1次リーグ戦及び決勝トーナメント方式によって勝敗を決める。なお、1次リーグ戦は、少年女子は各5チーム4グループ、成年男子は各4チーム4グループ、成年女子は各4チーム8グループに分け、各グループ1位チームが決勝トーナメントに進む。

(イ) 各種別とも3名の選手からなる。5シングルスで試合を行う。ただし、外国籍の選手はC又はZのみの出場とする。

	1	2	3	4	5
ABCチームは	1、A	2、B	3、C	4、A	5、B
XYZチームは	1、X	2、Y	3、Z	4、Y	5、X

とする。

(ウ) 使用球は、(公財)日本卓球協会公認プラスチック球：40mmホワイトのみとする。

(5) 予選方法

① 都道府県大会

(ア) 都道府県大会は、(公財)日本卓球協会加盟の各都道府県協会が主管して実施し、期日、実施方法については当該都道府県体育協会と協議して決定する。

(イ) 期日は、7月下旬までに終了すること。

② ブロック大会

(ア) ブロック大会を実施する種別は、成年男子、成年女子及び少年女子の3種別とする。少年男子は、ブロック大会を行わないで本大会に出場できる。

(イ) ブロック大会区分及び都道府県数は下表のとおりとし、当番県を定めて実施する。当番県はブロック大会の結果にプログラムを添えて、実施後速やかに(公財)日本卓球協会宛連絡する。

(ウ) ブロック大会の開催地については、各ブロックに一任する。

③ 都道府県代表選手の選考について

都道府県大会等に参加し、これを通過した者であること。但し、事情により都道府県大会を実施できない場合、あるいは都道府県大会に参加できない場合には、下記(ア)、(イ)の選考方法が認められる。なお、やむを得ない事情により都道府県大会等を実施できない場合は、事前にその事情について各都道府県体育(スポーツ)協会、(公財)日本卓球協会と協議し、了承を得ておくこと。(ここで、都道府県大会等とは、国体予選会、都道府県選手権、その他の予め指定した競技会、都道府県内ランキングなどを指す。)

(ア) 選出基準を事前に周知徹底しておくことを条件に、どの選手をどのような手順で代表とするかについて、代表選手選考方法は都道府県に任される。

(イ) ブロック大会を実施する種別で、当該都道府県がブロック大会を勝ち抜いた場合、ブロック大会に実際に参加した者に代えて、本大会には他の者を参加させることができるが、この場合、その者が当該都道府県大会の同一種目に「参加」していることを条件とする。なお、ここでいう「参加」には、「当該都道府県が予め(公財)日本卓球協会に対して了承を得た選手選考方法により選出した者」の意味を含むものとする。

(ウ) トップアスリートの特例処置を別記1のように定める。